

# 日本キャリアデザイン学会 2007 年度総会

## 配 付 資 料

日 時 2007年10月20日(土) 16:15-17:15  
会 場 武蔵野大学 8号館 8203教室

司会 上西充子(研究組織委員長)

### 次 第

1. 開会あいさつ 会長 渡辺三枝子
2. 主宰校あいさつ 武蔵野大学 齋藤 諦淳(たいじゅん) 学長
3. 議長選出
4. 事業報告(資料1)
5. 会員アンケート結果報告(別紙)
6. 事業方針(資料2)
7. 決議事項(資料3)
  - 第1号議案 規約改正の件(会計年度変更・会費規則変更)
  - 第2号議案 関西支部設立の件
  - 第3号議案 2006年度決算、2007年9月臨時決算承認の件
  - 第4号議案 2007年度予算案承認の件
8. 来年度研究大会・総会の件(資料4)

以上

## 資料1 事業報告

- 1 会員は順調に増加し、10月の会員審査終了時において900人・団体となった。前年の同じ時期に比べて80名増である（会費督促などでの退会処理者を考えれば順調に伸びている。また会員構成では正会員640、正会員院生81、学生会員23、賛助会員個人112、賛助会員団体44で、正会員が61名増加した）。

	2007年10月	2006年10月	増減
正会員	640	579	61
正会員(院生)	81	75	6
学生会員	23	30	-7
賛助会員(個人)	112	94	18
賛助会員(団体)	44	42	2
合計	900	820	80

- 2 第一回会員アンケートを実施し、会員の状況把握と意見聴取を行った。学会活動にはおおむね満足が得られたものの、会員所在地近くでの研究会等を期待するものが多かった。昨年度は関西地区初の大会を開いたものの、東京周辺以外での活動の強化が課題である。
- 3 研究会は6回を実施し、ほぼ当初の目標を達成できた。いずれも議論がきわめて活発で時間どおりには終わらない状況もあるという盛況であった。
- 4 会員サービスのためホームページの改善を図り、過去の機関誌の閲覧ができるなどとした。
- 5 研究誌第3号を発行した。事情により若干の遅れがあったが、2号までに比べ頁数も充実し、会員から要望の高い年2回発行に向けて着実に前進していると思われる。ニュースレター、メルマガは、それぞれ月1回、またほぼ月2回のペースで順調に発行できている。
- 6 関連学会との連携では、日本キャリア教育学会との共催シンポジウムが二回目を迎え、また後援希望が増えるなど、輪が広がりつつある。
- 7 日本学術会議の登録会員と認められた。今後学術会議を通じた他学会との交流にも力を入れていきたい。
- 8 キャリアデザインという考え方の普及のため、学会監修・菊地常務理事編著で『キャリアデザインへの挑戦：58人のキャリアデザイン論』（経営書院）を刊行した。
- 9 キャリアデザイン学の確立のため、キャリアデザイン基本文献解題（仮題）を編集・発行することにし、編集委員を決め、作業に入った。
- 10 会計決算においては、予算とほぼ同額で処理できた。

## 資料2 事業方針

- 1 会の財政はほぼ安定軌道にのったと考えられるが今後ともキャリアデザイン研究の活発化のために会員増強に努める。
- 2 会員アンケートの結果から実務的なアイデア・事例を盛り込んだジャーナルの発行、会員の研究奨励などの期待が大きいため、これに取り組む（研究奨励については近く規定を作成、公開する予定である）。
- 3 関西支部の設立を12月に行い、当面年4回程度の研究会活動を行う。  
また北関東（群馬、栃木、茨城）地域での会員交流会などを計画する。  
その他、東京近郊以外の会員から要望の強いそれぞれの地域での研究交流機会の拡充のため、当該地域会員の要望によって役員派遣・講師紹介などの形で研究会などを行い、将来の支部化を可能などころから目指すことにした。
- 4 キャリア研究入門書の編集を行うという昨年の事業方針に従い、『キャリアデザイン研究基本文献解題（仮題）』の今年度中の発行を目指す。
- 5 キャリアデザイン関連用語集の発行に向けて、引き続き準備に取り組みたい。
- 6 キャリアデザインに関わる他の学会との連携を強化し、日本キャリア教育学会を中心に連携企画を強化する。
- 7 垣根をこえたキャリアデザイン支援のあり方を今後とも研究し、実践事例から学ぶためには国のレベルだけではなく地域レベルでの交流が重要であることから適当な地域を選定し主宰・後援・その他の形で実施する。
- 8 会の規模に見合って研究組織委員・各種委員の充実を計る。
- 9 2008年度大会を筑波大学において実施する。

## 資料3 決議事項

### 第1号議案 規約改正の件（会計年度変更・会費規則変更）

現在の会計年度は、「毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる」と規定されていますが、総会開催が10月と、会計年度の半分を過ぎた時点で開催されるため、決算、予算の承認手続きが形骸化してしまう恐れがあるため、決算時期の変更をご提案いたします。

日本キャリアデザイン学会規約 第20条第1項（会計年度）

**現 行** 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

**改正案** 本会の会計年度は、毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

なお、会費期間につきましては、現行どおり「毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる」ものとします。ただし、10月1日以降に入会された場合につきましては、初年度の年会費は半額にすることをあわせてご提案させていただきます。

日本キャリアデザイン学会会費規則 第1条2項（条項追加）

会費期間は、毎年毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。ただし、毎年10月1日以降に入会が承認された会員に関しては、初年度の会費のみ、前項の会費の半額とする。

## 第2号議案 関西支部設立の件

### (1) 日本キャリアデザイン学会 関西支部規約 (案)

#### 第1条 (名称)

本支部は、日本キャリアデザイン学会 (以下「学会」という) 関西支部 (以下「本支部」という) と称する。

#### 第2条 (支部会員)

日本キャリアデザイン学会の会員で、近畿地方 (京都・大阪・兵庫・滋賀・奈良・和歌山・三重の2府5県) に居住・勤務・在学するものとする。

#### 第3条 (目的)

本支部は、日本キャリアデザイン学会規約第2条の達成のため、関西地区における諸活動を行なうことを目的とする。

#### 第4条 (事業)

本支部は、前条の目的を達成するために、学会の方針と支部役員会の決定に基づき、主として支部会員のために次の事業を行なう。

- 1 研究会、年次総会等の開催と会員相互の交流
- 2 調査、研究、実践の実施と支援
- 3 地域の関連諸団体との交流
- 4 キャリアデザインに関わる会員の専門知識・技能の向上
- 5 支部会員以外の会員にも開かれた行事および交流の促進
- 6 その他、本支部の目的を達成するために必要な事業

#### 第5条 (役員)

本支部の運営のため、支部担当の理事を定め、また支部長他、必要な役員を置く。

- 2 上記理事、役員は常務理事会が会員のうちから指名する。
- 3 役員任期は学会理事の任期と同じ期間とし、2年とする。ただし、再任は妨げない。

#### 第6条 (事務局)

本支部の事務局は、常務理事会の指定する機関内に置く。

#### 第7条 (経費)

本支部の予算枠は学会予算のうちから理事会の提案に基づき、総会の議決を経て決定し、細部に関しては支部役員との協議に基づき常務理事会が決定する。

#### 第8条 (会則の改正)

本支部の会則の改正は、支部役員との協議のうえ常務理事会で発議し、理事会で決定する。

付則 本支部の会則は、2007年10月21日から施行する。

### (2) 設立総会・記念講演会

日 時 2007年12月15日(土) 午後3時～7時半 (予定)

会 場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

## 資料4 来年度研究大会・総会について(予定)

日 程 2008年10月 日(土)・ 日(日)

会 場 筑波大学 筑波キャンパス  
茨城県つくば市天王台 1-1-1



秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分、バス15分。

